

○事業所名	インクルーひたちなか教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月 31日		~ 2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		~ 2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月実施される職員向けの運動研修を受講することで、利用児一人ひとりの発達段階や特性に合わせた運動支援を提供している。安全面に配慮しながら、楽しみながら体を動かす経験を積み重ねることができる。	運動研修で学んだ内容を職員間で共有し、子どもの発達や課題に合わせた運動遊びを取り入れている。また、無理なく参加できるように難易度の調整を行っている。	今後も継続して運動研修を受講し、支援の質向上に努めると共に、職員間での情報共有や振り返りを行い支援の方法の理解を深めていく。
2	子どもの特性や活動内容に合わせて、のびのびと体を動かせるスペースと機序活動を行うスペースを分けているため、集中して活動に取り組みやすい環境を整えている。	活動の切り替えがしやすいように視覚的にわかりやすい配置や環境設定を行い、子どもが安心して過ごせるよう配慮している。	子どもの様子や活動内容に応じて環境の見直しを行い、より安心して活動できる環境づくりを進めていく。
3	小人数制の為、こども一人ひとりの特性や発達段階に合わせた丁寧な支援が行える。	日々の様子を職員間で共有し、個々の課題や成長に合わせた丁寧な支援が行える。	保護者や関係機関との連携を深め、より適切な支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ体制のさらなる充実	限られたスタッフで対応している為、すべての子どもに十分なきめ細やかな支援を届けることが難しい場面がある。	新人教育や職員定着支援をさらに充実させ全児童に十分なサポートを届けられる体制をつくる。また、職員間で役割分担を明確にし、業務の効率化や情報共有を進めていく。
2	プログラムの拡充	利用者の個々のニーズや興味に応じた集団活動の工夫が十分に行き届かない場合がある。	個別支援と並行して、集団活動の工夫や多様なニーズに応じたプログラムを開発・実施する。
3			

事業所における自己評価総括表_児童発達支援

○事業所名	インクルーひたちなか教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月 31日		～ 2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月実施される職員向けの運動研修を受講することで、利用児一人ひとりの発達段階や特性に合わせた運動支援を提供している。安全面に配慮しながら、楽しみながら体を動かす経験を積み重ねることができる。	運動研修で学んだ内容を職員間で共有し、子どもの発達や課題に合わせた運動遊びを取り入れている。また、無理なく参加できるように難易度の調整を行っている。	今後も継続して運動研修を受講し、支援の質向上に努めると共に、職員間での情報共有や振り返りを行い支援の方法の理解を深めていく。
2	子どもの特性や活動内容に合わせて、のびのびと体を動かせるスペースと机上活動を行うスペースを分けているため、集中して活動に取り組みやすい環境を整えている。	活動の切り替えがしやすいように視覚的にわかりやすい配置や環境設定を行い、子どもが安心して過ごせるよう配慮している。	子どもの様子や活動内容に応じて環境の見直しを行い、より安心して活動できる環境づくりを進めていく。
3	小人数制の為、こども一人ひとりの特性や発達段階に合わせた丁寧な支援が行える。	日々の様子を職員間で共有し、個々の課題や成長に合わせた丁寧な支援が行える。	保護者や関係機関との連携を深め、より適切な支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ体制の課題	限られた人数での対応になる場面があり、全員にきめ細やかな支援を提供するのが難しいことがある。	新人教育や職員定着支援をさらに充実させ全児童に十分なサポートを届けられる体制をつくる。また、職員間で役割分担を明確にし、業務の効率化や情報共有を進めていく。
2	情報発信や連携の不足	見学や体験の案内が十分でないことや、保護者・地域との情報共有のタイミングが不十分なことがある。	地域との連携を強化し、ホームページやSNSを活用した情報発信を充実させるとともに見学や、体験の機会を増やして安心して利用していただける体制を整える。
3			

事業所における自己評価総括表_保育所等訪問支援

○事業所名	インクルーひたちなか教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月 31日	～	2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日	～	2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日	～	年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等や関係機関と連携をしながら、子どもの状況に応じた訪問支援を継続的に行っている。	支援前後の打ち合わせや振り返りを行い、支援の質向上につなげている。	職員間での事例共有を増やし、支援の幅や視点を広げていく。
2	職員間で支援計画や支援内容を共有し、チームで支援に取り組んでいる。	記録を丁寧に残し、支援内容の検証や改善に活かしている。	研修で得た知識や技術を事業所内で共有し、全体の専門性の向上につなげる。
3	保護者との情報共有を大切にし、相談内容や意向を支援に反映できている。	訪問先の施設の理念や方針を尊重し、信頼関係を築くことを意識している。	保護者や訪問先の声をより積極的に収集し、支援内容の充実を図る。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者評価や外部の専門家からの助言を十分に取入れられていない。	日常業務が中心となり、外部評価や地域活動に時間を割くことが難しい状況である。	第三者評価や外部研修を計画的に導入し、客観的な視点を業務改善に活かしていく。
2	地域の協議会等への参加が限定的である。	地域とのつながりを深めるための情報収集や働きかけの不足が見られる。	地域の会議や協議会への参加を検討し、関係機関との連携強化につなげていく。
3			